

企業立地促進と中小企業振興による相乗効果

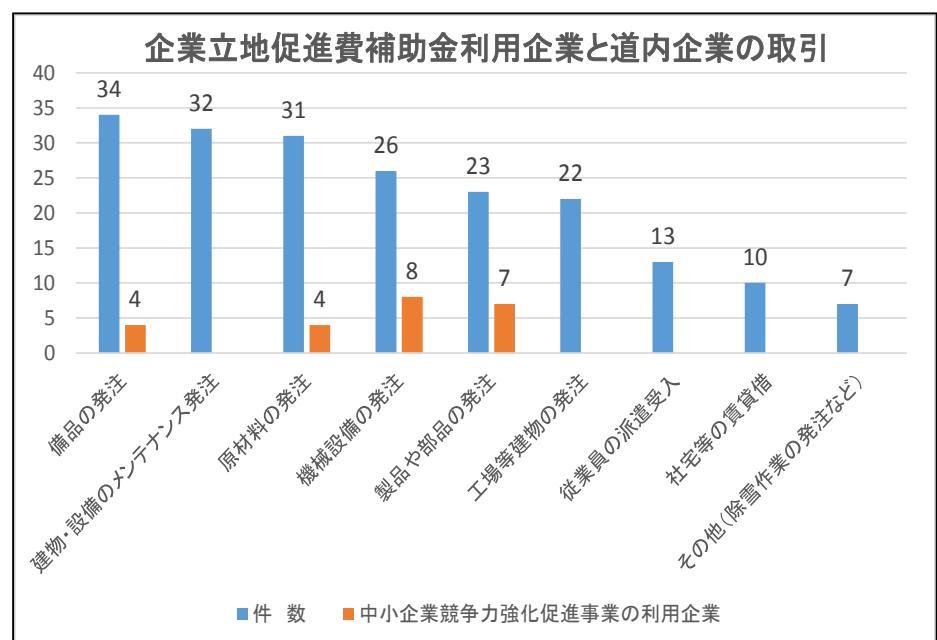
■ ポイント

1. 道が実施したアンケート調査で、「企業立地促進補助金」の利用企業73社のうち回答のあった46社全社が操業後に道内(地場)企業と取引実績があると回答。
主に、備品、建物・設備のメンテナンス、原材料、機械設備、製品・部品の取引が多い。
条例で実施している「中小企業競争力強化促進事業」の利用企業とも取引がある。
2. 自動車関連産業では、立地企業の発注に対し、道内企業が参入し、調達額が増加傾向にある。
3. 食品関連産業では、道内食品メーカーの57%が道内メーカーの機械の導入実績はあるものの、残り43%は未導入。
道では、道内食品加工メーカーへの道内メーカーの機械導入に向けて、マッチングや「北のものづくりネットワーク」を活用し、技術力の向上を支援中。
4. 道が実施したアンケート調査や自動車関連産業の動向を踏まえると、条例が目指す「企業立地促進」と「中小企業振興」の一体的・相乗的効果が出つつある状況にあり、道内需要の域内循環の促進に一層、取り組んでいく必要がある。

1. 企業立地促進補助金の利用企業アンケート調査結果 (再掲)

- ①道が実施したアンケート調査で、「企業立地促進補助金」の利用企業73社のうち回答のあった46社全社が操業後に道内(地場)企業と取引実績があると回答。
主に、備品、建物・設備のメンテナンス、原材料、機械設備、製品・部品の取引が多い。
- ②条例で実施している「中小企業競争力強化促進事業」の利用企業とも取引があり、機械設備や製品・部品の取引が主な内容。
- ③条例が目指す「企業立地促進」と「中小企業振興」の一体的・相乗的効果が出ており、立地企業と道内地場企業の結びつきが強化されている。

取引の内容	件数	
		うち中小企業競争力強化促進事業の利用企業
備品の発注	34	4
建物・設備のメンテナンス発注	32	
原材料の発注	31	4
機械設備の発注	26	8
製品や部品の発注	23	7
工場等建物の発注	22	
従業員の派遣受入	13	
社宅等の賃貸借	10	
その他(除雪作業の発注など)	7	



2. 道内の大手自動車関連企業・食品メーカーの動向

1) 道内大手自動車関連企業の道内調達状況

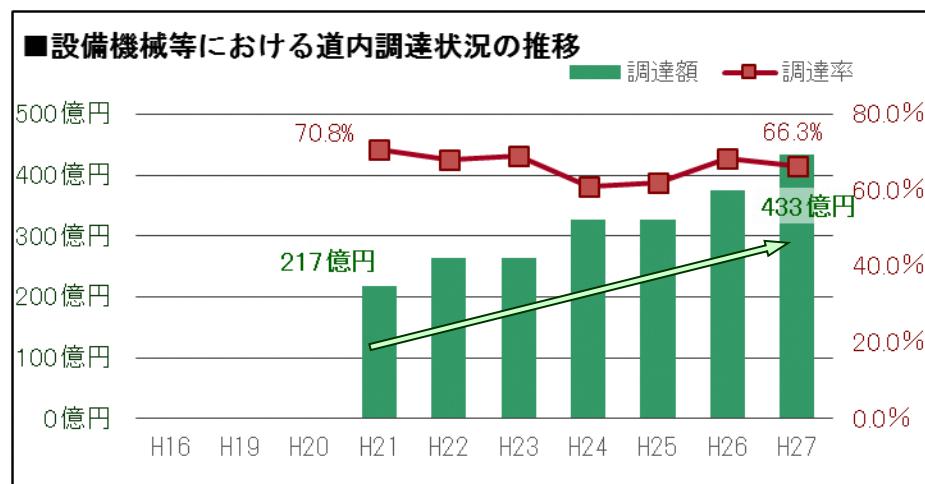
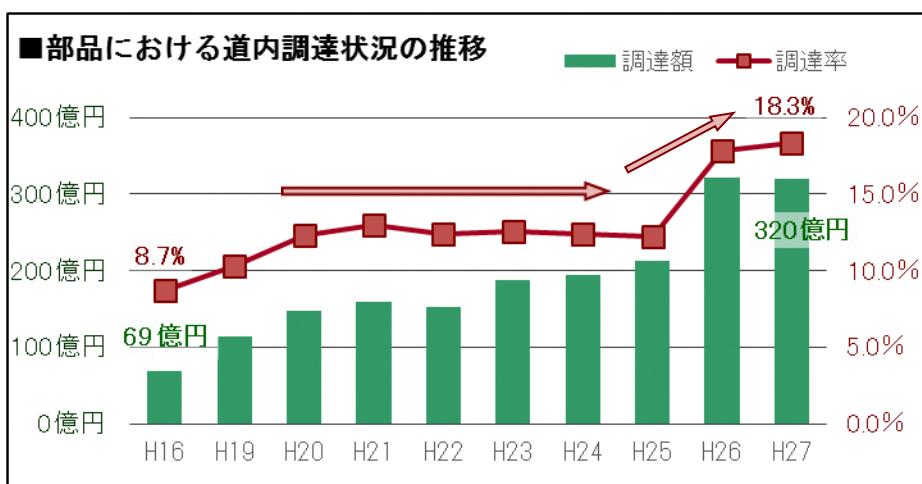
●立地企業の発注に対し、道内企業が参入し、調達額が増加の傾向にある。

①道内からの部品調達状況

- ・道内調達額は調査開始(H16)以降、ほぼ一貫して増加傾向にあり、H26は大幅に増加して300億円を突破。(H16:69億円→H27:320億円)
- ・道内調達率は2年連続で過去最高を記録。(H16:8.7%→H27:18.3%)

②道内からの設備機械・消耗品等の調達状況

- ・立地企業の設備投資増に伴い、道内企業への発注も拡大し、調査開始(H21)以降道内調達額は6年連続で過去最高を記録。(H21:217億円→H27:433億円)
- ・道内調達率はこれまで70%前後の横ばいで推移。

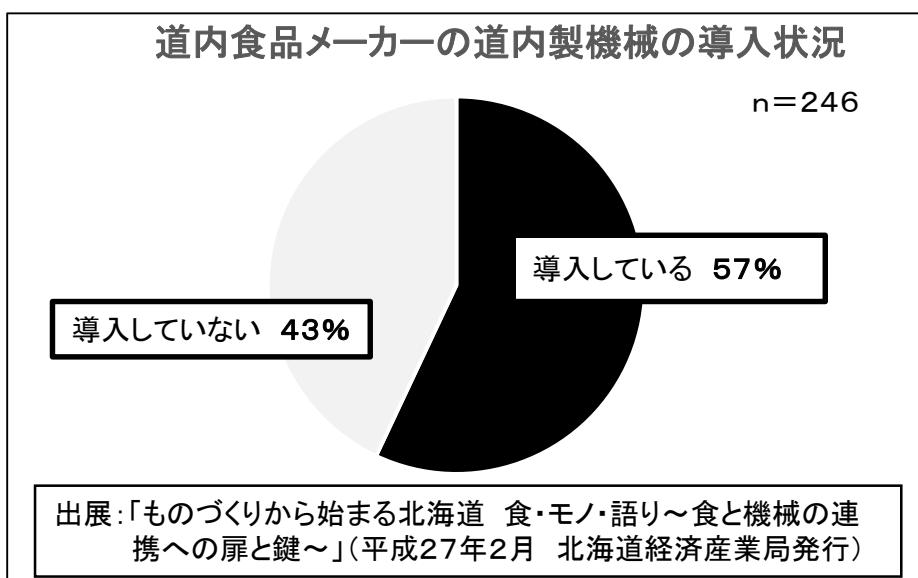


2) 道内食品メーカーの道内機械の導入状況

●北海道経済産業局の調べによると、道内食品メーカーの9割が製造機械を導入し、その57%が道内メーカーの機械を導入。

- ・43%は海外を含めた道外メーカーの機械を導入している状況であり、道内企業が参入できる余地がある。

●道が実施したアンケート調査では、「企業立地促進補助金」を利用した立地企業(食品メーカー)と道内(地場)企業の間で、備品や機械設備等で取引実績がある。



○道が実施したアンケート調査で、「企業立地促進補助金」を利用した立地企業(食品メーカー)が道内(地場企業)から備品や機械設備等を調達していることが判明。

【A社】道内(地場)企業から備品、機械設備、製品・部品、建物・設備のメンテナンスを調達。

【B社】道内(地場)企業から備品、機械設備、製品・部品、建物・設備のメンテナンス、原材料などを幅広い分野で調達。